

栃木県知事から感謝状を拝受

～ 防犯への取組みを「安全で安心なまちづくり功労地域団体」として評価 ～

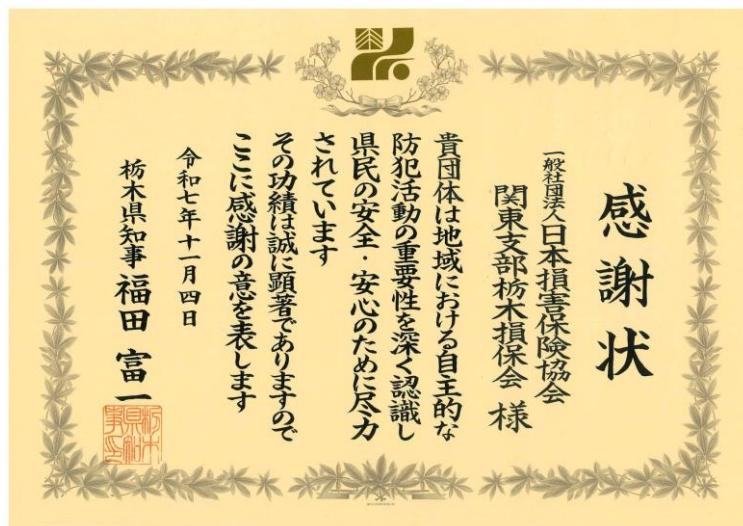
日本損害保険協会関東支部 栃木損保会(会長:石谷 佳代子・三井住友海上火災保険株式会社栃木支店長)では、日頃より県内の安全安心な街づくりに資する取り組みとして、防犯活動に取り組んでいますが、今般、こうした取り組みにより、栃木県知事(福田 富一)から感謝状が授与されました。

近年、北関東を中心に太陽光発電施設の銅線ケーブル等の金属盗難が多発しており、栃木県内でも、2024年の同施設での盗難被害が1,225件発生し、県内の金属盗難全体の7割近くを占めています。こうした状況を踏まえ、栃木損保会では栃木県警と連携して、太陽光発電施設の銅線ケーブル盗難を注意喚起する動画を作成し、発電所オーナー等に注意を呼びかけるなど、啓発に取り組んでいます。

また、自動車盗難についても、栃木県は盗難認知件数が、毎年全国ワースト10位内に入る盗難多発県であることから、栃木損保会として、ラジオで注意喚起をするなどの啓発を継続して行っております。これらの継続的な防犯の関する取り組みが評価され、このたび感謝状が授与される運びとなったものです。

11月4日(火)に栃木県総合文化センターで開催された「第17回栃木県交通・生活安全安心県民大会」の席上で、「安全で安心なまちづくり功労地域団体」への表彰式が行われ、栃木県知事から感謝状の授与がありました。

栃木損保会では、今後も行政や警察と連携し、安全安心な街づくりに向けた取り組みを継続して行ってまいります。



授与された感謝状